

令和2年度 東光保育園自己評価

評価対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日
評価について	3段階で判定 ◎ よくできている ○ ほぼできている △ 努力が必要
評価責任者	園長 坂本留美子

1. 保育理念

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育理念、保育目標を理解し、正しく説明することができる	◎	入職時、全体研修などで保育理念を伝えている。
保育園の園目標や方針を保護者に知らせている	○	入園時に重要事項説明書にて全員に口頭説明。玄関、各保育室に掲示する。

2. 保育計画

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育計画を作成し、見通しを持った保育を実施している	◎	保育所保育指針に基づき、保育過程、年間保育計画月案、週案、日案を作成している。
年間計画、年間行事の見直しをしている	◎	昨年度の反省の元、保護者や職員の声を踏まえ、年間行事の見直しを行う。

3. 人権尊重

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	◎	子どもの思いを大切にし、子どもに理解しやすい言葉で伝える。 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取るよう努力している。

4. 個人情報保護

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
個人情報の扱いについて、入園時等で説明している	◎	園内研修などで守秘義務について周知している。 守秘義務の周知徹底に努めるとともに、書類等個人情報にかかわるものに関しては、鍵のかかる場所に保管している。
業務上で知り得た子供の情報に関する守秘義務について、全職員で周知している	◎	
保護者からの相談の内容の守秘義務について、全職員で周知している	◎	

5. 保育内容

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
遊びに入れない子どもや、全体の様子に気を配っている	○	一人ひとりの子どもに気を配り、丁寧に関わるようにしている。 早くしなさい・いけませんなどのせかす言葉や制止の言葉を用いない保育を心掛けている。
子どもがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている	◎	子ども同士の関係を良くするような言葉かけをしている。 子どもを否定するような声掛けをしない。 子どもの意思を尊重する。
遊びを通して、友達や保育士との関わりが十分持てるよう配慮されている	◎	保育者自身が一緒に身体を動かしながら楽しんで保育している。
遊びや生活を通して、人間関係が育つような配慮をしている	◎	ケンカの場合には、状況を適切にとらえ、双方の思いを聞き丁寧に対応している。
身近な自然や社会と関われるような取り組みを行っている	◎	公園掃除や高齢者施設の慰問などを通じ、近隣住民との交流を図っている。
園の行事や保育の内容などを知らせている	◎	各保育室の連絡ボードや園だよりを使い、日々の活動を伝えている。

6. 保育環境

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
園内外が清潔で心地よい空間となっている	○	ゴミが落ちていたら拾う、掃くなど日々の掃除を徹底している。 おもちゃの消毒を日課としている。
年齢に応じた保育が提供できるような環境である	◎	年齢ごとに仕切られた保育室で落ち着いて生活ができる。 可動式壁を開閉し、場面に応じた空間を確保できている。
子どもたちが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気やおもちゃが工夫されている	◎	子どもたちの手の届くところに、年齢に合ったおもちゃを用意している。

7. 特別な支援を要する子どもへの対応

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
特別な配慮が必要な場合の対応がされている	○	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画を作成している。 できない・やってなどの要求に、優しく丁寧に答えている。 専門機関、保護者と連携を取りながら個々に合った保育を行う。

8. 保護者支援

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
意見や要望などへの対応ができています	○	行事後には感想文を書いてもらい、保護者の気持ちを受け止めている。
職員が子育て等、話しやすい雰囲気や態度で接している	○	保護者の思いを理解するように努め、丁寧に対応するよう心掛けている。 保護者と子どもに笑顔で挨拶をし、気持ちの良い対応をしている。

9. 安全対策・健康管理

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
保育中の体調への心配りや怪我等に対して配慮されている	○	事故・怪我のないよう声を掛け合っている。 各マニュアルを設置し園内研修にて周知している。
感染症の発生状況や注意事項などを知らせている	◎	感染症発生時には掲示板や手紙等でお知らせする。
子供の成長を把握している	◎	年2回の健康診断、毎月の身体測定の結果を保護者・保育者・栄養士と情報共有している。
不審者対策を行っている	◎	不審者対応訓練を実施している。

10. 給食

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
給食が楽しく食べられるよう工夫されている	◎	見た目の工夫や旬の食材を取り入れている。 バイキング給食の実施で、自分の好きな物・食べられる量を理解する機会を設けている。
食育を通して、子どもたちが食に興味を持てるようにしている	◎	保育理念・保育目標を基に年間食育計画を立て、見通しを持った食育を行っている。 行事に関する献立を作成し、食文化を伝えている。

子どものサインを見逃さないようにしている	◎	年齢に応じた形態、身体測定の結果を反映した量などにし、食べる事に無理強いしない。
アレルギー除去食の対応	◎	アレルギー児の把握。トレイや食器の個別化徹底。ダブルチェックで配膳を正確に行う。
衛生管理の徹底	◎	衛生マニュアルに基づき徹底。 正しい手洗い、白衣・帽子・マスクの着用。 調理室内の衛生、掃除の徹底。

11. 地域支援

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
地域との関係が適切に保たれている	○	日頃の挨拶。行事時の声掛け。子どもたちとの交流。
地域の子育て支援や交流	◎	園庭開放や育児支援、育児交流の開催。 未就園児の身体測定やおむつ配布。

12. 職員育成

小分類	評価	評価の根拠・改善方法
職員の質の向上に努めている	◎	職員に研修を受ける機会を設け、そこで学んだことを園内研修にて全員に周知している。 保育士としての立ち振る舞いを指導している。
社会人としての振る舞いを指導している	◎	正しい言葉遣いで会話や電話対応するよう指導している。 自分の仕事に誇りを持てるよう声掛けをしている。

<園全体の評価>

- ・今年度は新型コロナウイルスの影響により、入園式は形を変え、マスク着用・短時間でいった。
- ・参観日、保護者総会、親子遠足等は中止とした。
- ・運動会は子どもたちだけの「運動会ごっこ」を実施した。しかし親の要望により、3歳以上児は時間を指定し、親1人の参加とし、再度実施した。
- ・発表会は大きく形を変え、土曜日毎に1クラスずつ発表会とし実施した。
- ・卒園式も密を避け、親1人の参加とした。
- ・マスク、消毒、換気に明け暮れた1年だった。

<来年度の課題>

- ・新型コロナウイルスがどの程度沈静化するのか予想がつかない状況である。引き続き手洗い、マスク、換気に努めていきたい。
- ・行事はどの程度実施できるか予想がつかないが、国・県・市からの情報をよくチェックしていきたい。
- ・子どもたちが不安にならないよう十分関わり、きめ細かい保育を行っていきたい。

